

## 電気自動車を災害時の電源確保に



1. 協定を交わし、電気自動車「リーフ」の前に立つ池辺市長(写真右)と日産プリンス茨城販売株式会社の木屋代表取締役社長(同左)
2. 避難所の一つになる「ひたち野うしく小学校」と、災害時に同校に無償提供される電気自動車



9月27日、牛久市と日産プリンス茨城販売株式会社が「災害時ににおける電気自動車による電力の供給に関する協定書」を交わしました。

この協定は、東日本大震災の教訓を踏まえ、災害発生時に避難所の一つである、ひたち野うしく小学校に日産の電気自動車「リーフ」を非常用電源として無償提供してもらい、電力を確保するためのものです。

災害時は、同小学校の体育館(700人収容可能)に避難した方の電力を電気自動車2台で確保できるとのこと。同社の木屋代表取締役社長は「移動手段としてだけではなく、災害時のバックアップとして利用していただければうれしい。今後も貢献していきたいです」とあいさつ。池辺勝幸市長は「市は震災後、公共施設のエネルギー確保を検討してきました。今後、太陽光発電や蓄電システムなどを整備する準備をしていきます。今回の協定は、スマートグリッド(電力送配電網)の一つのモデルになるのではないかと話しました。」

## 東京医大指定取り消し について要望書提出

診療報酬を不正請求したとして、12月1日から保険医療機関の指定取り消し処分を受ける東京医科大学茨城医療センター(阿見町)の問題について、10月10日、牛久市と龍ヶ崎市、河内町、利根町の4市町は、茨城県の橋本昌知事に要望書を提出しました。

4市町は、同センターの保険医療機関の指定取り消し処分は、地域住民への影響が大きいため、保険医療機関の早期再指定に向けて国へ働きかけることを知事に要望しました。



要望書を手渡す野口憲副市長(左から3人目)



## 散策路の愛称は

### 「牛久沼かつぱの小径」に決定！

こみち



命名者の谷口さんと小澤さん(写真右から)



国道6号 常磐線 至 龍ヶ崎市

今年の3月末に城中町の牛久沼沿いに完成した散策路の愛称が「牛久沼かつぱの小径」に決定しました。市では、親しみを持ってもらうため、広く愛称を募集し、市内外から合計120点もの応募がありました。

愛称選定委員会では、「牛久沼」が茨城県南部を指し、「かつぱ」で牛久市を連想して分かりやすいことなどの理由で、この「牛久沼かつぱの小径」の名称を採用。

10月3日には命名者への感謝状贈呈式が行われ、小澤幸子さん(牛久市田宮)と谷口浩さん(龍ヶ崎市寺後)の受賞者2人に池辺勝幸市長から感謝状が贈呈されました。

小澤さんは「名称は頭にパツと思いつきました。命名していただき、ますます牛久沼が好きになりました」と喜びを語りました。

皆さんも全長約1km、途中には127mの木道もあるこの小径を歩いてみませんか。

## さわやかな秋空の下、市民体育祭を開催

10月8日の体育の日、牛久・岡田・奥野各地区で市民体育祭が行われました。前日の雨の影響で1日遅れての開催となりましたが、秋晴れの下、健康増進を図りながら近所との交流のため、参加者は元気に汗を流しました。



大興奮の「行政区対抗リレー」(牛久地区)

牛久運動広場で行われた牛久地区体育祭では、第25回体育祭記念イベント「行政区対抗リレー」を開催。各行政区は地元の威信をかけて、バトンをつなぎました。レース前には、応援合戦が行われるなど、観客も大興奮。「がんばれ!」と大きな声援を受け、勢い余って転倒するランナーも出るなど、盛り上がりしました。岡田地区の「綱



顔が真っ白!「なめたらあかん」(奥野地区)



一致団結した「綱引き」(岡田地区)

引き」や奥野地区の「なめたらあかん」など、参加者・観客ともに楽しめる競技が用意され、会場に集まった皆さんの顔からは自然と笑顔がこぼれていました。



## 梨のオーナーが収穫

平成21年から始まった梨のオーナー制も4年目を迎え、今年は36組がオーナーとなりました。

9月20日、牛久市久野町で梨のオーナーによる収穫が行われました。大きく実った梨の実に、この日訪れたオーナー4年目の鈴木さん夫婦（神谷町在住）も収穫に力が入りました。収穫した梨は、ジャムにするなど、毎年楽しみにしているとのこと。生産農家の方との触れ合いも、この制度の良いところ。オーナー制の梨は、大玉でみずみずしく風味豊かな甘みが特長の「新高」<sup>（にたか）</sup>という品種で、毎年9月中旬から10月初旬まで収穫を楽しめます。



大きく実った梨を収穫する鈴木さん

## よくかんで味わったよ



「おいしいね」と牛久麺を食べる園児たち

牛久産小麦麵（大和産業徳生製麵工場製造）は、小中学校だけでなく、市立保育園の給食にも提供されています。

下根保育園の4歳・5歳の園児たちは、広いホールで一緒に食事をとります。この日、提供された牛久麺は、具たくさんで栄養たっぷり。園児たちは、小さな手で器用に箸を使って口に運びながら、「もっちりしていておいしい」と話していました。

コシが自慢の牛久麺は、煮崩れしにくく、歯ごたえのある食感が楽しめます。軟らかいものばかり食べがちな子どもたちの顎にも、良い効果があるかも知れません。

## 古地図を寄贈した

### 大山さんに感謝状贈呈

9月12日、市は牛久の明治時代初期の柏田村・猪子村の地図15点を寄贈した大山勝久さん（柏田町在住）に感謝状を贈呈しました。

寄贈された資料は、「地引絵図」<sup>（じびきえず）</sup>といい、現在の公図に当たります。この「地引絵図」は、明治6年の

地租改正で土地に課税がされるようになり、納税方法も年貢などの物納から金納に変更されたことから、その課税根拠とするため作成されたものであることが分かっています。



牛久にまつわる古地図を寄贈した大山さん

## 子どもの才能を引き出す方法



辻井いつ子さんによる講演

10月2日、市中央生涯学習センター文化ホールで、「牛久市家庭教育学級合同研修会」が開催され、530人の学級生を含め約800人が参加しました。

第1部の「子育て演習」では、「子どもが時間を守らなかつたら」など、各場面に応じた親の関わり方・接し方についての演習を実施。

第2部では、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝した、天才ピアニスト辻井伸行さんを育てた辻井いつ子さんによる講演会「子どもの才能の見つけ方・伸ばし方」が行われました。いつさんは、全盲の伸行さんが生後8カ月のとき、クラシック音楽を聴いて喜ぶ息子の才能に気付き、子どもの可能性を信じてピアノを弾く楽しさを尊重しながら、その才能を開花させた経験を語りました。

## 「トラックの日」に 合わせ清掃活動



道路沿いを入念に清掃する参加者

9月30日、(社)茨城県トラック協会県南支部による、市内のクリーン作戦が実施されました。

この活動は、10月9日の「トラックの日」にちなみ、毎年行っているもので、県南地区の運輸関係事業者から63人が参加。市内を3グループに分け、主要道路沿いの植え込みを中心に、車から投げ捨てられた空き缶や吸い殻などを中心に拾いました。

参加者の男性は「牛久市は若干吸い殻が多いですが、全体的にゴミが少ないですね」とゴミ拾いの感想を語りました。参加者は約2時間をかけ市内をきれいに清掃しました。

## 水泳全国大会で快挙

東京辰巳国際水泳場で開催された第35回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会で、余村花梨さん(牛久一中)が、女子11〜12歳自由形50mで27.27秒のタイムで優勝しました。10月3日、余村さんは優勝報告のため池辺勝幸市長を表敬訪問。5歳で水泳を始めた余村さんは、現在市内のスイミングクラブで、週6日、放課後に約2時間の練習を行っています。



今後の活躍が期待される余村さん(写真右)

全国大会で初めて優勝した余村さんは、「目標にしている北島康介選手のようにオリンピックを目指して、さらに練習をがんばります」と元気に目標を話してくれました。

## 茨城県スポーツ吹矢 大会で見事入賞

9月12日、石岡市運動公園体育館で「第7回茨城県スポーツ吹矢大会」が開催され、20代から80代の男女約800人が初級・中級・上級の各クラスに分かれ、熱戦を繰り広げました。

初級クラスでは、187人の中で「牛久かつばの里支部」の大西亮一さんが見事優勝。同じく相内美千代さんが3位、加藤一代さんが5位に入賞しました。また、中級クラスでは、304人の中で美馬功さんが4位に、「牛久奥野支部」の入江利雄さんが5位に入賞しました。呼吸法をゲーム感覚で実践できるスポーツ吹矢。皆さんも一緒に始めてみませんか。



入賞した入江さん、美馬さん、相内さん、加藤さん(写真左から)

## みんなで元気に マレットゴルフ

8月19日、市総合福祉センターマレットゴルフ場で「第3回関東牛久マレットゴルフ交流大会」が開催されました。

猛暑の中、県内外の団体から136人が最後まで元気にプレーし、「牛久マレットゴルフ友の会」が好成績を収めました。

「牛久マレットゴルフ友の会」は、健康の維持向上と親睦を目的に、生涯スポーツとして毎日楽しく活動しています。興味のある方は一度体験してみてください。道具は常備していますので、お気軽にどうぞ。

問 小西 ☎ 872・1251

## 第3回関東牛久マレットゴルフ交流大会結果

| 順位  | 男子の部  | 女子の部  |
|-----|-------|-------|
| 優勝  | 三上 三郎 | 三上 節子 |
| 準優勝 | 石川 進  | 小西 幸子 |

<敬称略>



## 災害復旧のための

### 「ふるさと応援寄附金」

10月4日、社団法人茨城県公共  
嘱託登記土地家屋調査士協会から  
市に「ふるさと応援寄附金」として  
5万円が寄付されました。

同協会は東日本大震災後、茨城  
県内全域の被災家屋の滅失登記を  
した際に、法務局から支払われた  
収益金の一部を県内市町村に寄付  
しています。同協会の理事長・小  
沼洋さんは「この寄付金を道路な  
どの災害復旧に充ててもらえれば  
うれしいです」と話しました。



(社)茨城県公共嘱託登記土地家屋調査士協会から  
市に「ふるさと応援寄附金」が寄付されました

## 岡田地区スポーツ

### 交流会が寄付



池辺市長に寄付をする田中会長(写真右)

9月、岡田地区スポーツ交流会  
(田中隆之会長)主催のゴルフ大会  
が開催され、182人が参加しま  
した。参加者は日頃の練習の成果  
を発揮しつつ、健康づくりと交流  
を深めました。終了後に開かれた  
表彰式では、福祉チャリティー募  
金を行い、集まった1万4113  
円が牛久市社会福祉協議会へ全額  
寄付されました。

岡田地区スポーツ交流会では、  
10月に市民体育祭、11月にはバス  
ハイクを実施するなど、地区住民  
の生涯健康と親睦を目指し、年間  
を通して各種事業を開催していま  
す。皆さんのご参加をお待ちして  
います。

## 写真で牛久の良さを

### 再発見

9月25日、市内在住の太田二郎  
さんが写真集「牛久奥の細道」を市  
に寄贈しました。太田さんは、平  
成22年にも牛久市内を空撮した写  
真集「牛久空中散歩」を市に寄贈  
しています。今回寄贈された写真  
集には、太田さんが市内各地で撮  
影した63カットが収録されていま  
す。

太田さんは「この写真集をきつ  
かけに、牛久の良さを皆さんに再  
発見してほしいです」と話してい  
ました。今回寄贈された写真集は、  
市中央図書館で閲覧および貸し出  
しがされています。



市に写真集を寄贈した太田さん(写真右)

中学生が取材！  
職場体験※

## 顔に見えるナス！



変わった形のナス(左写真)を  
収穫した加瀬さん夫妻



10月上旬、  
加瀬さん夫妻  
(中央在住)  
が、畑で変わった形のナスを収穫  
しました。ナスは、2カ所虫に食  
べられている部分が目の様に見え  
て、ナスのへたはモヒカン刈りの  
髪型に見えました。

家族のために野菜作りを始めた  
という加瀬さんは、季節ごとにい  
ろいろな種類の作物を育て、農作  
業に汗を流しているそうです。加  
瀬さんは「変わったナスが採れて  
びっくりしました。畑で採れたも  
のは、甘味があつておいしいです  
ね」と話していました。

※この記事は、職場体験学習の一環で広報業務を体験した飯島涼さん・鈴木佐介さん(牛久一中)の取材を元に作成しました。